

工学部情報学科 JABEE 学部内評価会議議事録

開催概要

日 時 令和 6 年 5 月 7 日(火) 16 : 30~17:50
場 所 G161 室 (情報学科会議室)
評価委員 機 械 工 学 科 樹野淳也教授
建 築 学 科 崎野良比呂教授
化学生命工学科 仲宗根薫教授
情報学科 片岡教授, 荻原教授, 木村准教授, 阪口准教授, 加島准教授, 町田准教授,
木下助教

議題

1. 学科長挨拶, 概要説明 (会議開催の目的)
2. 情報学科カリキュラム概要説明 (阪口)
3. JABEE 前回(2018 年度)受審結果の概要説明および前回からの改善点の説明 (阪口)
4. 意見拝聴

資料

資料	ファイル名
1	工学部情報学科 JABEE 学部内評価会議議事次第.docx
2	説明資料.pptx
3	JABEE 審査結果詳細 2018 指摘事項マーカ付き.pdf
4	5-F2-1 基準単位でのワーキンググループ立ち上げについて.pdf
5	JABEE 認定基準 WG 担当案
6	08_資料 No.7-1~No.7-3_障がい学生の支援体制の整備について.pdf
7	令和 5 年度情報学科学科 FD 会議議事録

議題 2, 3

・情報学科カリキュラム概要説明 (阪口准教授)

資料 2 の内容をもとに説明

資料 3 のマーカ部分について説明→指摘事項に対する対策の説明 (資料 4)

議題 4

・学習・教育目表水準の具体性の不足 (樹野教授)

基本情報処理試験としているので良い

・学生のメンタルケア (樹野教授)

共通にて記入を行うことになる

・点検活動のしくみに関する指摘 (樹野教授)

学科で PDCA を回して学部内でチェック (個人, 学科, 学部) していれば問題ない

今回のような評価点検委員会などを実施しておけばよい

議事録などのエビデンスを残す必要がある

・基準単位でのワーキンググループ (崎野教授)

・ワーキングは JABEE 基準で実施している部分に違和感が覚えられる.

・建築では文系, 理系科目それぞれ実施をしている

・学生のメンタルケア (崎野教授)

メンタルケアに関わる取り組みでの指摘によりカウンセラーが常駐してくれて助かっている

・卒業生のアンケート (崎野教授)

建築は学祭の前日にリクルートのついでに OB 会を実施している. 社会人を中心に集まってもらっている. 以前は OB 会を実施していたが集まりが悪く良い意見も聞けない.

企業研究会の時にアンケートを取ることもしていた.

リクルート活動に来た時にアンケートをしている. アンケートの活かし方を模索中.

・カリキュラムポリシー (仲宗根教授)

カリキュラム標準 J7-IS (情報処理学会) の基準があるのは良い (真似してアレンジしていることを説明する必要がある)

・設備更新(仲宗根教授)

90 台の PC について導入に至る問題点(必要性)と導入による効果(学生の立場, 教員の立場, カリキュラムの立場から)を細部にわたって記載する(エビデンスによる主張).

・学習・教育目表水準の具体性の不足(仲宗根教授)

a~i の割合などがきまっているか?→決まっている

・学生のメンタルケア(仲宗根教授)

学部全体の問題なので, 実質的に解決済みではないか.

現在, 学生配慮のしくみが学部事務で進行中なので, それ良い.

学科内では情報共有を具体的に記載すれば良い.

・仕組みの機能に対する点検実績(仲宗根教授)

学科内 FD は, 些細なことでも FD になり得る.

アンケートの役割を明確にする. また, 卒業生アンケート等の要望に沿ってカリキュラムの改訂を検討し, そのエビデンスを残すのが良い.

アンケート結果に好意的な内容の記載のみだった場合は, 社会の要求に沿ったカリキュラムを作成できている証明となる.

仕組み自体の点検を行った実績が乏しい(エビデンスによる).

基準 1~4 の WG を設置している. 若干非効率, 些細な FD 活動(+会話)を後で, 分類してまとめれば良い(まとめることができる).

以 上

令和 6 年 5 月 7 日

議事録確認者: 阪口 龍彦

議事録作成者: 加島 智子